

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	社会福祉法人函館恵愛会 クレドホテル函館
住 所	函館市深堀町22-42
電話番号	0138-54-7878

事業所番号	0111402004
管理者名	高田 美和子
対象年度	3年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		30	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(Ⅱ) 生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	○	40	点
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(Ⅲ) 多様な働き方(※)

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている		○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている		○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている		○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている		○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている		○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計(注1)			10
点			

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上(※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上であった		○	
参加した職員が半数以上であった			
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回の場合		○	
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ どちらか一方のみの取組を行っている		○	
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加 1回の場合		○	
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している		○	
◎ ⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している			
◎ ⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。			
◎ ⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等 都道府県知事が適当と認めるISOが定めた 規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計(注2)			10
点			

(※) 任意の5項目を選択すること

(注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
1事例以上ある場合:10点			

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	30
生産活動	5点	20点	25点	40点					40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					35
支援力向上	0点	15点	25点	35点					35
地域連携活動	0点		10点						10

合計	
150	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（元年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	41,361	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	12,749	人	利用者の1日の平均労働時間数	3	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

前々年度（30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	38,950,406	円	利用者に支払った賃金総額	30,384,439	円	収支	8,565,967	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	38,465,361	円	利用者に支払った賃金総額	36,541,540	円	収支	1,923,821	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（2年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度を活用した人数 名
 ※取得を進めた免許等：
 制度の活用内容：

②利用者を職員として登録する制度

◎職員として登録した人数 名
 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している
 ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している
 ※登録した日 年 月 日
 勤務形態：
 就業時間： 時 分～ 時 分
 職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 2名
 ※実施した期間：1月26日～3月31日
 就業時間（在宅勤務）：9時00分～12時00分
 職務内容：アクセサリ作成
 学習ソフトを使用した一般就労支援

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名
 ※実施した期間：月 日～ 月 日
 就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分
 職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 3名
 ※実施した期間：4月1日～3月31日
 就業時間（短時間）：10時00分～12時00分
 職務内容：水産加工業務他

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 12名
 ※実施した期間：7月1日～3月31日
 就業時間（早出の場合）：9時00分～12時00分
 就業時間（遅出の場合）：10時00分～14時00分
 職務内容：早出 ホテル清掃業務
 遅出 水産加工業務他

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 名
 ◎計画的付与制度を活用した人数 7名
 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得
 計画的付与制度
 取得した期間：4月1日～3月31日
 取得日数・時間 3日 時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 1名
 ※取得した内容：がん治療
 取得した期間：4月1日～3月31日
 就業時間：10時00分～11時00分
 職務内容：水産加工業務他

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（2年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している
 ◎研修実施回数 外部 2回/内部 12回
 対象職員数 15人
 うち研修受講者数 15人
 ※研修名 全Aネット就労支援セミナー
 研修講師 諏訪康雄
 実施日・受講者数 3月 3日 100人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 2回
 ※研修、学会等名 農家と障がい者福祉の連携を推進するセミナー
 実施日 11月 5日
 ※学会誌等名 農家の友
 掲載日 11月 1日
 発表テーマ 農福連携「道南モデル」の取組み

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
 ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名 北海道庁視察
 実施日/参加者数 8月 26日 5人
 ※他の事業所名 七飯養護学校視察
 実施日/参加者数 6月 25日 5人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 3回
 ※商談会等名 農福連携道南モデル体験実習に向けた事前見学会及び検討会
 主催者名 渡島総合振興局
 日時 10月 10日
 内容 農作業体験実習に向けた検討会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している
 ◎当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 2年 4月 1日
 人事評価制度の対象職員数 15名
 うち昇給・昇格を行った者 8名
 当該人事評価制度の周知方法 面談

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※配置期間 月 日～ 月 日
 就業時間
 職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載


各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	社会福祉法人函館恵愛会クレドホテル函館
住所	函館市深堀町 2 2 - 4 4
電話番号	0 1 3 8 - 5 4 - 7 8 7 8

事業所番号	0 1 1 1 4 0 2 0 0 4
管理者名	高田 美和子
対象年度	3 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：新函館農業協同組合 七飯支店花卉課 ：大中山農産センター花卉共撰場</p> <p>実地日程：令和2年5月29日～令和2年11月27日</p> <p>実施した生産活動：カーネーション選別業務</p> <p>施設外就労の概要：令和元年10月より渡島振興局による農福連携取り組みに参加。実習体験を経て、福祉事業所とJAとのマッチングにて令和2年度のJA共撰作業に参加することになった（利用者9名）</p>	<p><活動の様子></p> <p>～共撰場作業風景～</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・作業場は天気は左右されず就労が継続できた ・作業配置等障がいに合わせて環境作りに協力して頂けた
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：企業側と福祉側それぞれの課題があり、双方が取り組みを通して農福連携について知ることができる。対象者（障がい者）にとってのメリットも多く、賃金向上や体力面、一般就労に近い環境の中で就労を継続し一般就労をめざす機会となる。</p>	 
<p><成果></p> <p>実施した結果：参加者がより一般就労に近い環境で働くことができ、就労に関する意識が高まった。</p> <p>得られた成果：参加者1名が一般就労につくことができ利用者の賃金向上につながった</p>	

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】			
<p>農福連携を通し、障害者を雇用するうえで作業内容での個人差はあるが、作業日数が経過するにつれ選別作業処理も早くなり、一般従業員並みの処理能力まで成長した。特に挨拶はきちんと出来ており、仕事を早く覚えようとする思いが感じられた。また、一般従業員（パート職員）とのコミュニケーションも次第に取れるようになり、質問することや、自主的に行動できるようになった。</p>			
【今後の連携強化に向けた課題】			
<p>一般従業員（パート職員）と利用者との壁（障害者への理解）があると感じられる。就労する中で農協担当者の障害者への理解があっても、一般従業員（パート職員）の障害者に対する個々の思いや考えが違うため、仕事の働き方（向き合い方）、働きづらさが一般従業員（パート職員）、就労者どちらにも感じられるため今後進めていくうえで大きな課題となる。</p>			
連携先企業名	JA新はこだて七飯基幹支店 花卉課	担当者名	壁坂 俊哉